

第61回

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

全国植樹祭 かながわ 2010



実施計画【概要版】



神奈川県

第1章 開催概要

1 開催方針	1
2 開催理念	1
3 大会テーマ	2
4 シンボルマーク	2
5 大会ポスター原画	2
6 開催日	3
7 主催	3
8 開催規模	3
9 開催会場	4
10 開催地概要	5

第2章 お手植え・式典行事計画

1 基本的な考え方	6
2 演出概要	6
3 式典進行スケジュール	7

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方	9
2 お手植え計画	9
3 お手播き計画	10
4 代表者記念植樹計画	11
5 招待者記念植樹計画	11

第4章 会場整備計画

1 基本的な考え方	15
2 施設配置計画	15
3 主要施設計画	18
4 サイン計画	19
5 仮設トイレ計画	19
6 飾花計画	20
7 サービス広場計画	20

第5章 運営計画

1 基本的な考え方	21
2 招待計画	21
3 参加者行動計画	22
4 受付計画	23
5 招待者に配布する記念品等	23
6 作品御覧・レセプション計画	23
7 昼食計画	25
8 医療・衛生計画	25
9 消防・防災、警備計画	26
10 実施本部計画	27

第6章 宿泊・輸送等計画	
1 基本的な考え方	28
2 宿泊計画	28
3 輸送計画	28
第7章 サテライト会場計画	
1 基本的な考え方	30
2 開催概要	30
第8章 荒天時式典計画	
1 基本的な考え方	32
2 開催概要	32
第9章 県民運動計画	
1 基本的な考え方	33
2 実施事業の展開	33
第10章 記念事業等計画	
1 基本的な考え方	34
2 記念事業の内容	34
3 関連事業等の内容	36
第11章 広報・協賛計画	
1 基本的な考え方	37
2 広報計画	37
3 協賛計画	38
資料	
1 かながわ森林再生50年構想	39
2 スケジュール	40

*実施計画上の用語の使い分けについて

1 「参加者」、「招待者」の使い分けについて

「参加者」・・・・・・出演者・出展（店）者・実施本部員等及びサテライト会場への来場者も含め、全国植樹祭に参加する全ての人をさす。

※「招待者」以外の人を個別にさす場合にも使用する。

「招待者」・・・・・・参加者のうち、全国植樹祭のお手植え・式典行事に招待する人のみをさす。

※運営上の区分では、「両会場招待者」「特別招待者」以外の招待者を個別にさす場合にも使用する。

2 招待者の運営上の区分について

「両会場招待者」・・・・南足柄会場→秦野会場を移動するS-VIP（約20名）を表す言葉として使用。

「特別招待者」・・・・先催県等におけるVIP（約400名）を表す言葉として使用。

「一般招待者」・・・・「両会場招待者」「特別招待者」以外の招待者を表す言葉として使用。

（通常は「県外一般招待者」「県内一般招待者」といった形で使用）

1 開催方針

(1) 開催意義

本県には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで、県土の40%近くを占める、約95,000㍊もの森林があります。

しかしながら、近年、標高800メートル以上の奥山では、ブナやモミの立ち枯れや風衝地等不適地への造林による荒廃が目立つようになり、その下に広がる標高800メートルから300メートルの山地や標高300メートル以下の里山では、スギやヒノキの人工林、広葉樹林を問わず、手入れ不足等で下草がなくなり表土が流れ出すなど、県内各地で森林の荒廃が進んでいます。

一方、森林に対する県民の期待は、木材や燃料の提供といったことから、降った雨を蓄え、ゆっくりと流すとともにきれいでおいしい水を育む水源のかん養や、山崩れや土砂の流出を防ぐ災害の防止、野生生物との共生、さらには都市に住む人々の潤いや安らぎなどに大きく変化してきています。

これに加えて、花粉症問題の深刻化に伴い、花粉の主な発生源であるスギやヒノキの人工林に対する施策が、強く求められるようになっていきます。

こうした状況を踏まえ、本県では、平成19年度から「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づく「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」による特別対策をスタートさせ、水源の森林づくり事業の加速化などを図るとともに、さらに、今後、半世紀をかけ、「かながわ森林再生50年構想」により、荒廃森林の解消と混交林の拡大を図るなど、森林を抜本的に再生していくこととしています。

平成22年の全国植樹祭は、50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、協働して取り組む本県の森林再生を、全国に発信しながら、さらに前進させる大きな節目として開催するものです。

(2) 計画における本県の特徴

■環境への配慮

計画全般にわたり、準備の段階から、CO₂の排出量削減や廃棄物減量化（ゼロエミッション）をするため、地元産品を使用するなど、地球環境に配慮した大会とします。

■おもてなし

会場は、すべての参加者が安全、快適、清潔に過ごせるよう、ユニバーサルデザイン※に極力配慮し、招待者におもてなしの心でサービスを提供します。

■神奈川らしさ

全国植樹祭や開催までに実施する各種イベント等は、「かながわ」の特色を十分に生かした内容とします。

※ユニバーサルデザイン

障害者、高齢者、健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。

2 開催理念

全国植樹祭の開催を通じて、森林再生に向けた神奈川の取組を発信し、全国との交流を図ることにより、本県が目指す森林再生の姿と手法を、より一層確実なものにするるとともに、県民協働のうねりを高めて、誰もが森林と積極的な関わりを持ち、その恵みを実感できる社会の実現を目指すこととします。

3 大会テーマ



●作者 宗像 洋明（むなかた ひろあき）さん 横浜市

4 シンボルマーク



● 愛称

「かなりんちゃん」

● 制作意図

樹で「ハート」を高く掲げ、手で樹を大切に植える「かなりんちゃん」の姿を通して、第61回全国植樹祭の大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現しました。また、愛称の「かなりんちゃん」は、神奈川の（かな）と森林の（りん）をかけあわせて、愛称としました。

● 作者

大阪府
河野 通（こうの とおる）さん

5 大会ポスター原画



● 画題

「温かい緑」

● 制作意図

テーマの「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現するため、みんなが笑顔で、手の平に描いた葉の模様を見せ合っている所を表現しました。

みんなの手でハート形がつけられていることで心を表しました。

● 作者

神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年
（平成20年度現在）
井上 美紀（いのうえ みき）さん

6 開催日

平成22年5月23日（日）

7 主催

社団法人 国土緑化推進機構

神奈川県

8 開催規模

- お手植え行事及び式典行事の参加者数は、合計で8,500人程度とします。
- サテライト会場を設け、各会場で合計145,000人程度の来場を得て、大会全体では総計150,000人以上の規模とします。

参加区分	人数	備 考
両会場招待者	20人	国務大臣、林野庁長官、(社)国土緑化推進機構会長・理事長、神奈川県知事・県議会議長等
県外招待者	1,180人	国会議員、中央省庁・団体関係者、緑化功労者、森林・林業関係団体の代表者等
県内招待者	4,300人	県議会議員、市町村長、市町村議会議員、森林・林業関係団体の代表者、公募招待者(2,000人)、実行委員会委員等
小 計	5,500人	
実施本部員等	3,000人	実施本部員、出演者、出展(店)者等
小 計	8,500人	
サテライト会場 参加者	145,000人	来場者
総 計	150,000人以上	

会 場	お手植え・式典行事	記念植樹
足柄森林公園丸太の森地区(南足柄市)	1,000人	2,000人
県立秦野戸川公園地区(秦野市)	4,500人	3,500人
合 計	5,500人	5,500人

9 開催会場

■お手植え・植樹会場

南足柄市足柄森林公園丸太の森地区
(南足柄市広町)

■式典・植樹会場

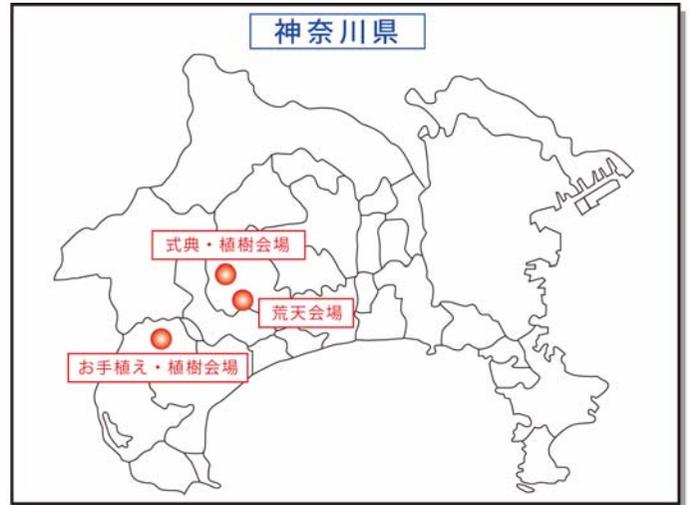
県立秦野戸川公園地区
(秦野市堀山下・戸川・横野)

■サテライト会場

13市町12会場

■荒天会場

秦野市総合体育館



10 開催地概要

(1) 足柄森林公園丸太の森地区

■お手植え会場（南足柄会場）

箱根外輪山の北東に位置し、南足柄市足柄森林公園丸太の森、県立足柄ふれあいの村に隣接する森林地域にあります。

お手植え会場の周辺施設は、子どもたちを始めとした多くの人々が訪れ、森林学習の拠点となっています。



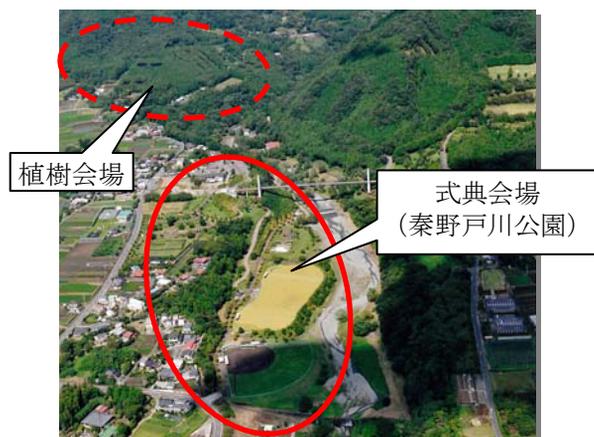
お手植え会場

(2) 秦野戸川公園地区

■式典会場（秦野会場）

会場となる県立秦野戸川公園は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水^{みず}無川の自然を活かした都市公園です。

丹沢山地への登山口として知られるこの地域は、多くの登山者や観光客が訪れ1年中にぎわっています。



式典会場

(3) 各地区植樹会場

■植樹会場

植樹会場は、お手植え会場、式典会場の近隣にあり、それぞれから徒歩で移動可能な距離にあります。

全国植樹祭開催後は、県民と協働して取り組む森林再生を象徴する県民運動の場として活用していきます。

1 基本的な考え方

- 大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」に込められた、森と人との深い関わりや、森を育てることが人々の未来を作ることにつながるという内容を、パフォーマンスや音楽、映像などを駆使して表現します。
- 全国植樹祭の原型を創造する役割を果たした昭和24年の「愛林日植樹行事」をはじめとし、神奈川が一步先んじた森づくりに踏み出していること、木や森との関わり方や森づくりに関して“全国のさきがけとなる神奈川県”を、メッセージとして発信します。
- 神奈川の自然や歴史、文化、産業の魅力をアピールし、全国からの招待者をおもてなしします。

2 演出概要

南足柄・秦野会場ともプロローグ、式典、エピローグ（南足柄会場ではリレーアトラクション）の三部構成とし、両会場招待者の移動時間を2会場連携セレモニーでつなぎます。

お手植え会場（南足柄会場）			式典会場（秦野会場）		
区分	プログラム	内容	区分	プログラム	内容
開会前	招待者入場	招待者をおもてなしします。	開会前	招待者入場	招待者をおもてなしします。
プロローグ	プロローグ説明 プロローグアトラクション 感謝状贈呈 記念切手贈呈 お手植え行事ご案内	○大型映像で神奈川県を自然を紹介。式典音楽隊によるおもてなしの演奏をします。 ○第61回全国植樹祭開催にあたり公募された各種優秀作品等への感謝状の贈呈をします。 ○郵便事業株式会社から神奈川県知事に、大会を記念して「ふるさと切手」が贈呈されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【南足柄会場を映像中継】 プロローグ お手植え行事 リレーアトラクション</p> </div>		
お手植え行事	天皇皇后両陛下 御着 開会のことば 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下 お手植え・代表者記念植樹 アトラクション 天皇皇后両陛下 御発	○穏やかに厳かな会場の雰囲気合った音楽でお出迎えをし、お見送りをします。 ○速やかな進行を心がけ、登壇者、介添え者、式典アシスタント、司会者の行動や音楽のタイミングなどの演出に配慮します。 ○「森が育む あなたの心」をテーマとしたアトラクションを実施します。			
リレーアトラクション	リレーアトラクション案内 リレーアトラクション	○南足柄会場から秦野会場にバトンを渡すイメージでのアトラクションを実施します。 ○神奈川県を代表する林業関係・木材加工の匠たち、森林ボランティア活動などを紹介します。			
2会場連携 セレモニー			タイムカプセル「過去からの手紙」の紹介と「未来への手紙」のメッセージ作りをします。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【秦野会場を映像中継】 プロローグ 式典行事 エピローグ</p> </div>			プロローグ	プロローグ説明 プロローグアトラクション 式典行事ご案内	○大型映像で神奈川県歴史文化を紹介。式典音楽隊によるおもてなしの演奏をします。
			式典行事	天皇皇后両陛下 御着 三旗掲揚・国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 天皇皇后両陛下お手播き アトラクション 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下 御発	○雄大で力強い会場の雰囲気合った音楽でお出迎えをし、お見送りをします。 ○速やかな進行を心がけ、登壇者、介添え者、式典アシスタント、司会者の行動や音楽のタイミングなどの演出に配慮します。 ○「森を育む あなたの心」をテーマとしたアトラクションを実施します。
			エピローグ	エピローグアトラクション案内 エピローグアトラクション	○「神奈川ラプソディ」と題し、県出身のアーティスト等による、神奈川県にゆかりのある曲の大会唱を行います。
エピソード			【2会場中継】にてテーマソング、神奈川ラプソディ大会唱		

3 式典進行スケジュール

(1) お手植え会場（南足柄会場）

お手植え会場(南足柄会場)								
時間	所要時間	プログラム	登壇者	出演者	音楽		映像	
					演奏	曲目		
■招待者入場								
		招待者入場			BGM CD		パワーポイント	
9:40		両会場招待者到着						
■プロローグ								
10:20	3	プロローグ説明					LIVE	
10:23	8	プロローグアトラクション ～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～			式典音楽隊		神奈川紹介映像	
10:31	6	感謝状贈呈	贈呈:神奈川県知事 受贈:各受賞者				LIVE	
10:37	2	記念切手贈呈	贈呈:郵便事業株式会社 代表取締役社長 受贈:神奈川県知事				LIVE	
10:39	6	お手植え行事ご案内						
■式典 お手植え								
10:45	4	天皇后両陛下 御着	御先導:神奈川県知事 お出迎え:大会会長 :国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊	ファンファーレ①	LIVE	
10:49	1	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		式典音楽隊	ファンファーレ②	LIVE	
10:50	2	苗木の贈呈	受贈:農林水産大臣 :環境大臣	贈呈:緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
10:52	8	天皇后両陛下 お手植え 代表者記念植樹	御先導:国土緑化推進機構理事長 :神奈川県知事 県内外特別招待者	介添え:緑の少年団 介添え:緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
11:00	6	アトラクション「森が育む あなたの心」		ろう者劇団・地元の子 どもたち他			LIVE	
11:06	4	天皇后両陛下 御発	御先導:神奈川県知事 お見送り:大会会長 :国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊		LIVE	
■南足柄から栗野へ(リレー)								
11:10	3	リレーアトラクション案内			BGM CD			
11:13	7	リレーアトラクション		林業・木材加工の匠 たち他			LIVE	
■2会場連携セレモニー(2会場中継)								
11:20	25	タイムカプセル「過去からの手紙」紹介 「未来への手紙」のメッセージ作り			BGM CD		LIVE	
■中継(式典会場→お手植え会場)								
11:45	60	式典会場から映像中継						
12:45	20	エピローグ(2会場中継)		全出演者+全参加者			LIVE	
■招待者退場								
13:05		招待者退場			CD		パワーポイント	

(2) 式典会場（秦野会場）

式典会場（秦野会場）								
時間	所要時間	プログラム	登壇者	出演者	音楽		映像	
					演奏	曲目		
■招待者入场								
		招待者入场			CD		パワーポイント	
■中継(お手植え会場→式典会場)								
10:20	60	お手植え会場から映像中継						
■2会場連携セレモニー(2会場中継)								
11:20	25	タイムカプセル「過去からの手紙」紹介 「未来への手紙」のメッセージ作り			BGM CD		LIVE	
■プロローグ								
11:45	4	プロローグ説明					LIVE	
11:49	16	プロローグアトラクション ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～						
12:05	5	式典のご案内						
■記念式典								
12:10	4	天皇皇后両陛下 御着	御先導: 神奈川県知事 お出迎え: 大会会長 : 国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ隊 式典音楽隊	ファンファーレ①	LIVE	
12:14	2	三旗掲揚(国歌斉唱)		掲揚: 緑の少年団 : ボーイスカウト : ガールスカウト	式典音楽隊	君が代	LIVE	
12:16	5	主催者あいさつ	大会会長 神奈川県知事					
12:21	5	表彰 ①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ②緑化功労 ③全日本学校関係緑化コンクール ④神奈川県緑化功労	表彰: 大会会長 : 農林水産大臣 : 文部科学大臣 : 神奈川県知事	受賞: 代表受賞者① : 代表受賞者② : 代表受賞者③ : 代表受賞者④	式典音楽隊		LIVE+ パワーポイント	
12:26	4	天皇皇后両陛下 お手播き	御先導: 国土緑化推進機構理事長 : 神奈川県知事	介添え: 緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
12:30	6	アトラクション 「森を育む あなたの手」		地元の子どもたち他	映像内BGM		LIVE+VTR 山本二三作 アニメーション	
12:36	1	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ隊	ファンファーレ②	LIVE	
12:37	3	リレーセレモニー	神奈川県知事 和歌山県知事	緑の少年団	CD	未定	LIVE+VTR	
12:40	1	閉会のことば	神奈川県議会議長		ファンファーレ隊	ファンファーレ③	LIVE	
12:41	4	天皇皇后両陛下 御発	御先導: 神奈川県知事 お見送り: 大会会長 : 国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊		LIVE	
■エピローグ								
12:45	2	エピローグアトラクション 案内					LIVE	
12:47	18	エピローグアトラクション(2会場中継) 「神奈川ラブソディ」		全出演者+全参加者			LIVE	
■招待者退場								
13:05		招待者退場			CD		パワーポイント	

1 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、「かながわ森林再生50年構想」に示した森づくりの方向と、植樹会場の地域特性を考慮し、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」及び「人工林の再生」を目指した森づくりを行います。
- 全国植樹祭を、県民との協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、苗木の育成や植樹行事への協力などに、多くの県民が参加できるようにします。
- 植樹行事に使用する樹種は、本県の自然条件にあった在来のもので県民に親しみのあるものなどを選定しました。

■記念植樹内容一覧

会場	位置	内容		面積	本数等
お手植え会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	—	6本
式典会場	お手播き所	お手播き		—	4種
お手植え会場	音楽隊席前	代表者記念植樹	招待者の代表	—	15~20本 (15~20人)
足柄森林公園丸太の森地区 植樹会場		招待者記念植樹 (午前植樹)		0.5ha	980本 (980人)
		招待者記念植樹 (午後植樹)			1,000本 (1,000人)
秦野戸川公園地区 植樹会場		招待者記念植樹 (午前植樹)		1.2ha	3,500本 (3,500人)

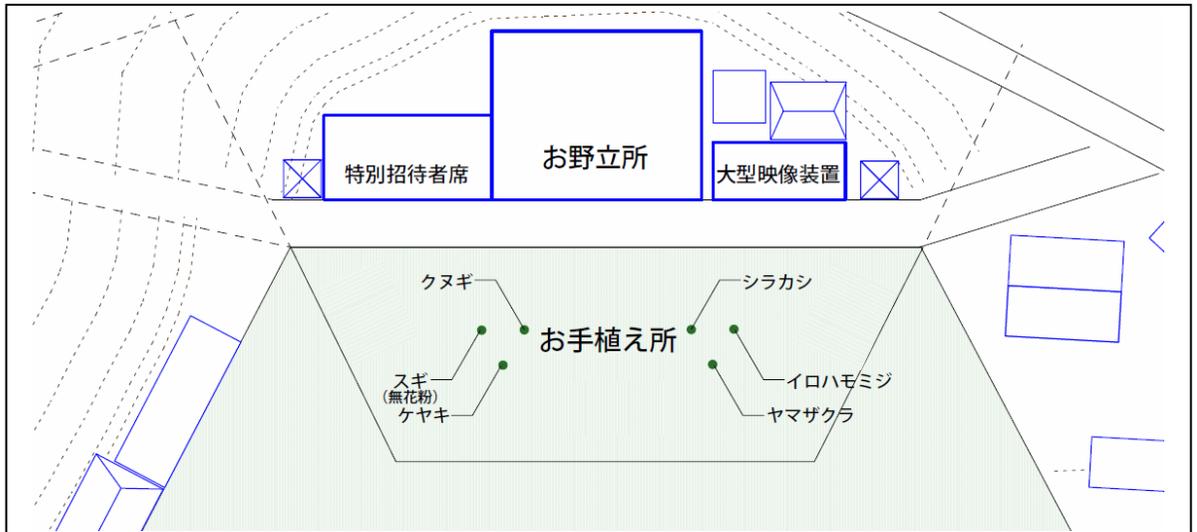
注) 代表者記念植樹の本数等の詳細は、今後実施マニュアルにおいて定めます。

2 お手植え計画

- 天皇皇后両陛下のお手植えは、足柄森林公園丸太の森地区のお手植え会場で、「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- お手植えされた樹木は、森づくりに対する県民運動のシンボルとして大切に管理、育成していきます。

天皇陛下 お手植え樹種			
	ケヤキ	スギ (無花粉)	クヌギ
皇后陛下 お手植え樹種			
	ヤマザクラ	イロハモミジ	シラカシ

■お手植え所配置図



3 お手播き計画

- 天皇皇后両陛下のお手播きは、秦野戸川公園地区の式典会場でお手播き箱へ、それぞれ2種類の播種とします。

<p>天皇陛下 お手播き樹種</p>	 <p>ブナ</p>	 <p>スダジイ</p>
<p>皇后陛下 お手播き樹種</p>	 <p>コブシ</p>	 <p>ヤブツバキ</p>

■お手播き所配置図



4 代表者記念植樹計画

- 代表者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、代表者それぞれが1本の植樹を行います。
- 代表者記念植樹に用いる樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じものとしします。

5 招待者記念植樹計画

- 招待者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区及び秦野戸川公園地区それぞれに設けられた植樹会場で、一人1本以上を植樹します。
- 記念植樹による森づくりは、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」及び「人工林の再生」を目指すものとし、未来の森の姿をイメージしながら植樹します。

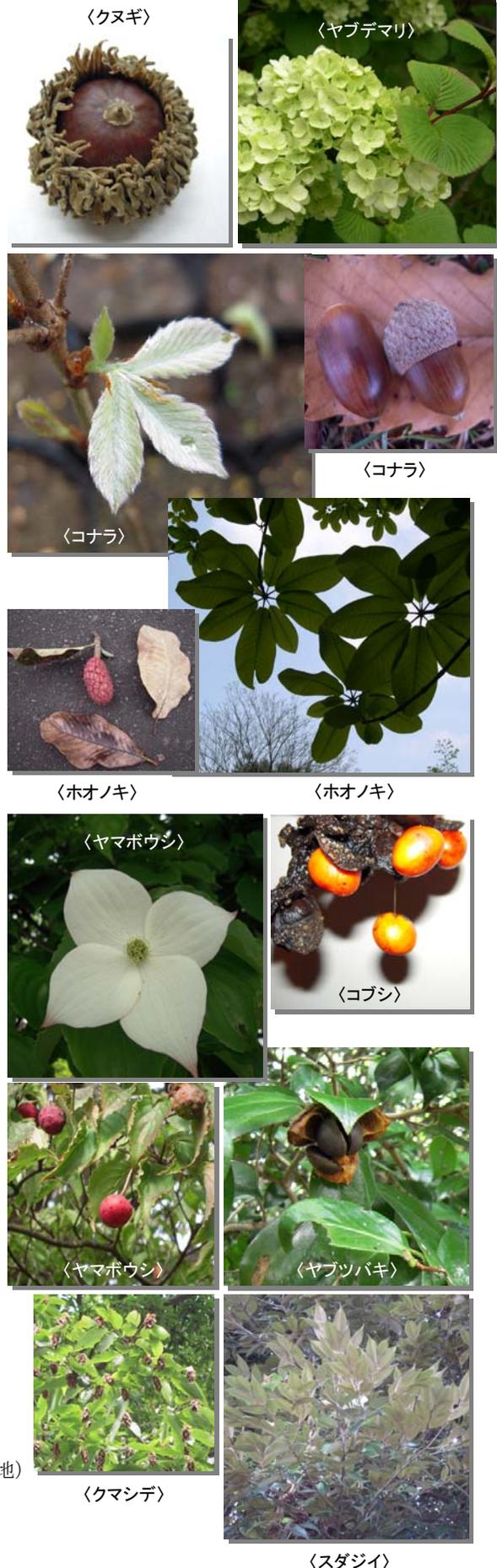
(1) 招待者記念植樹スケジュール

区分	グループ	植樹場所	内容
県外招待者①	午前植樹	足柄森林公園丸太の森地区	バスで足柄森林公園丸太の森地区の植樹会場に向かい、植樹した後、徒歩でお手植え会場へ移動する。
県内招待者①			
県内招待者②	午後植樹		秦野戸川公園地区の式典会場から、バスで足柄森林公園丸太の森地区の植樹会場へ向かい、植樹する。
県外招待者②	午前植樹	秦野戸川公園地区	バスで秦野戸川公園地区の植樹会場に向かい、植樹した後、徒歩で式典会場へ移動する。
県内招待者③			

※招待者区分については、P22の「参加者行動計画」を参照。

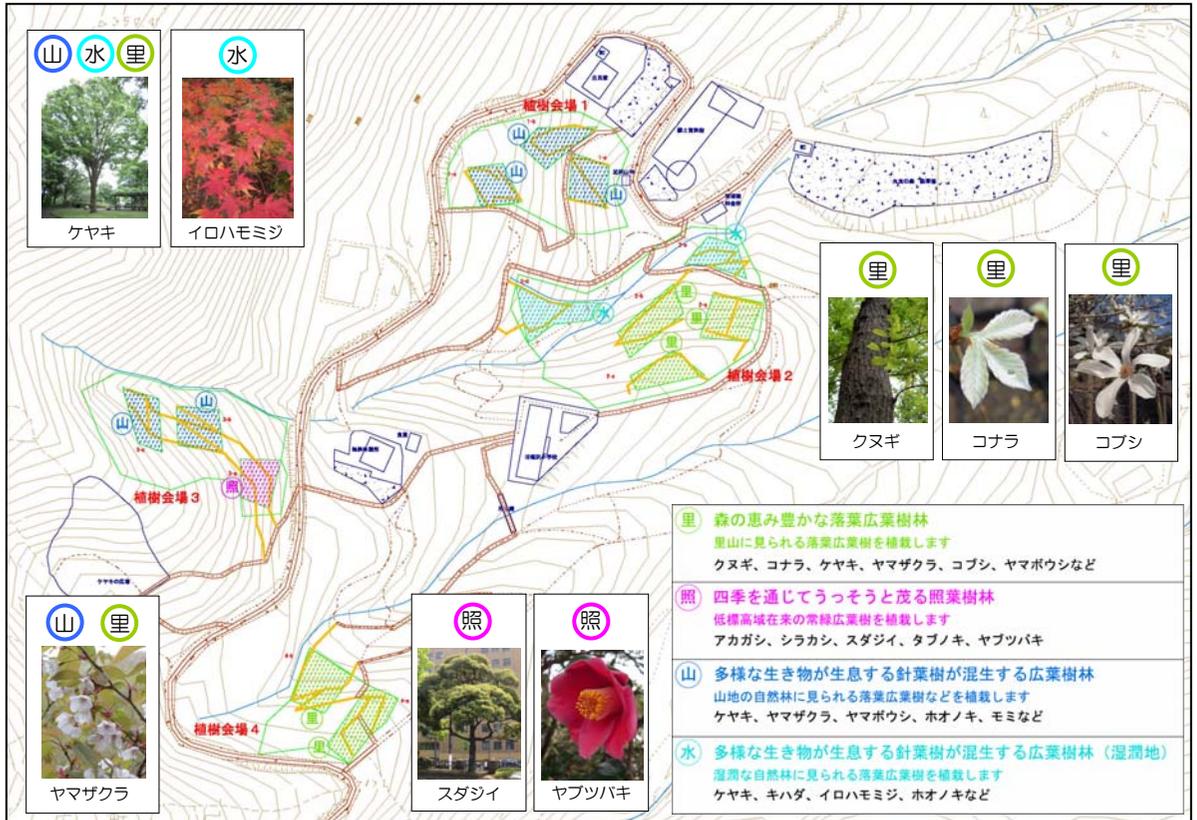
(2) 招待者記念植樹苗木

使用樹種	足柄森林公園 丸太の森地区				秦野戸川公園 地区				
	里	照	山	水	里	照	山	水	人
アオダモ	○		○	○	○		○	○	
アオハダ	○		○		○		○		
アカガシ		○				○			
アラカシ						○			
イタヤカエデ			○	○			○	○	
イロハモミジ				○					○
キハダ				○					○
クヌギ	○				○				
クマシデ	○		○	○	○		○	○	
ケヤキ	○		○	○	○		○	○	
コブシ	○				○				
コナラ	○				○				
シラカシ		○				○			
スギ(無花粉)									○
スタジイ		○							
タブノキ		○				○			
ヒノキ(少花粉)									○
ホオノキ	○		○	○	○		○	○	
モミ			○					○	
ヤブツバキ		○				○			
ヤブデマリ	○				○				
ヤマザクラ	○		○		○		○		
ヤマボウシ	○		○		○		○		



- ① 森の恵み豊かな落葉広葉樹林
- ② 四季を通じてうっそうと茂る照葉樹林
- ③ 多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林
- ④ 多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林 (湿潤地)
- ⑤ 森林循環を取り戻した持続可能な人工林

(3) 足柄森林公園丸太の森地区



植樹会場（南足柄）イメージ図

(4) 秦野戸川公園地区



植樹会場（秦野）イメージ図

1 基本的な考え方

会場の設営にあたっては、安全性・快適性、機能性、経済性に留意し計画します。また、現在の環境を活かし、できるだけ自然環境に負荷を与えないような整備計画とします。

2 施設配置計画

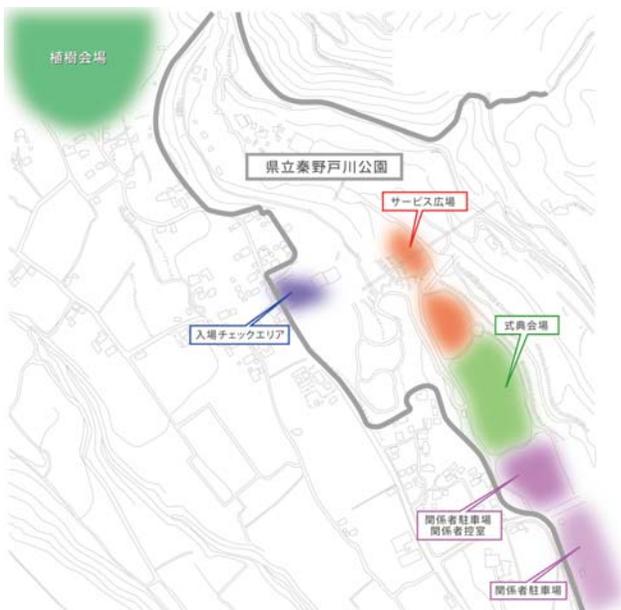
(1) お手植え会場（南足柄会場）

お手植え会場は、箱根外輪山の北東に位置する森林地域にあり、約1,000人の招待者を収容できる施設を整備します。

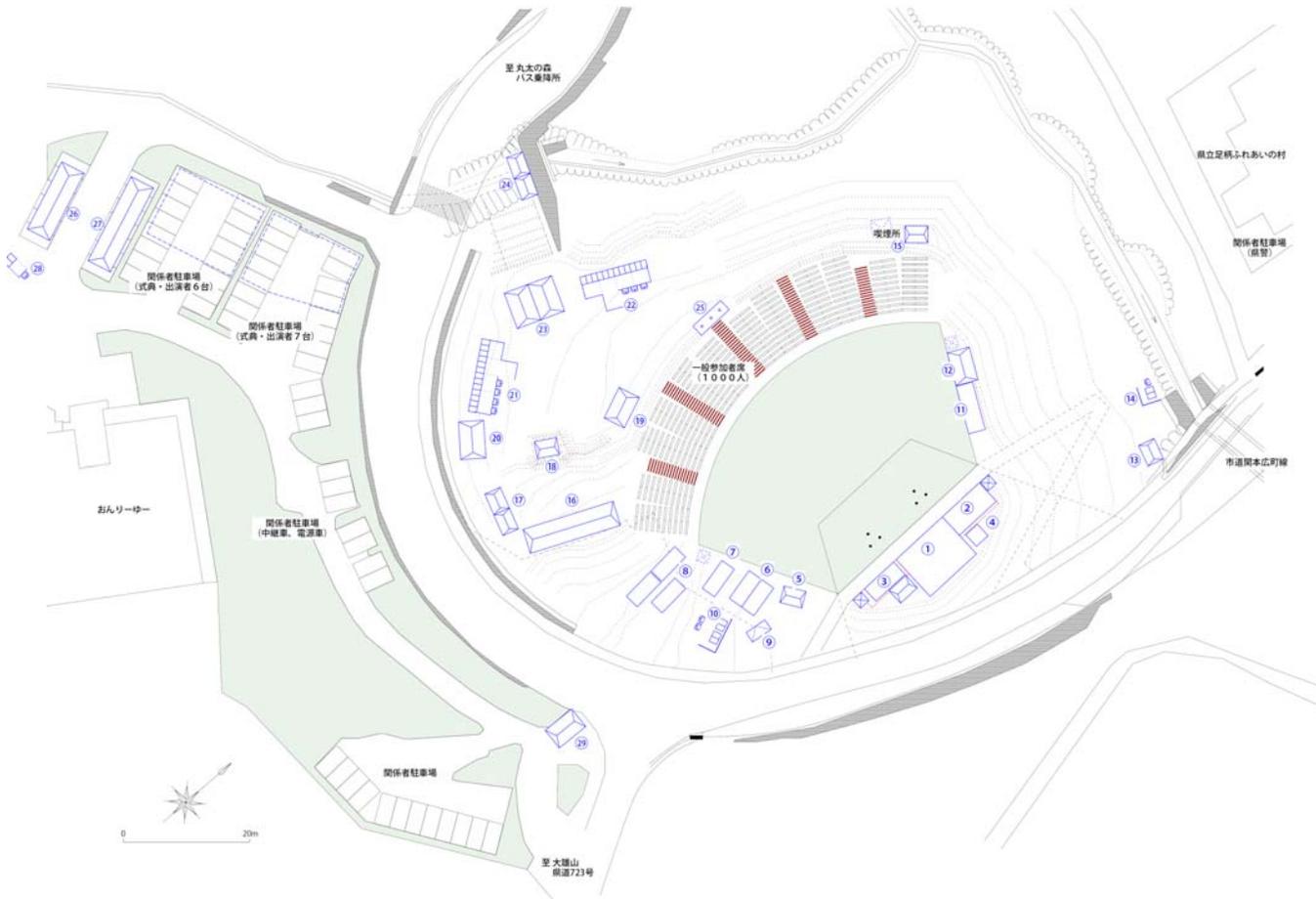


(2) 式典会場（秦野会場）

式典会場は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水無川みずなしがわの自然を活かした都市公園で、約4,500人の招待者を収容できる施設を整備します。

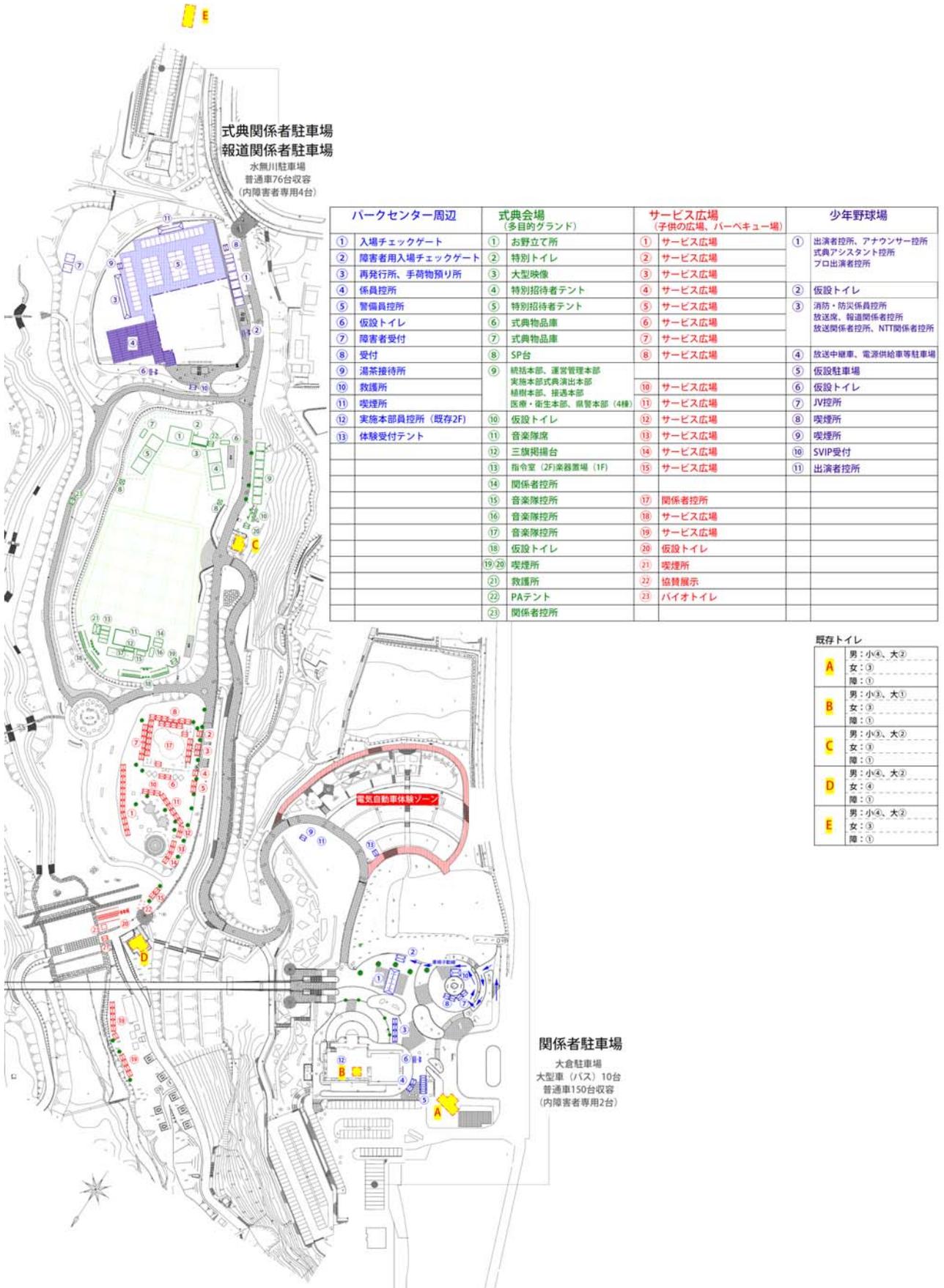


(3) お手植え会場全体配置図



① お野立て所	⑪ 音楽隊席	⑳ 救護所
② 特別招待者席	⑫ 実施本部	㉑ 女子トイレ
③ 大型映像	⑬ 式典物品庫	㉒ 男子トイレ
④ 特別トイレ	⑭ 式典用トイレ	㉓ 入場チェックゲート
⑤ 供奉随従	⑮ 式典物品庫	㉔ 再発行受付所、手荷物預り所
⑥ 指令室、物品庫	⑯ 出演者控	㉕ 三旗掲揚台
⑦ 県警本部	⑰ 湯茶接待所	㉖ 出演者控所
⑧ 実施本部	⑱ 案内所	㉗ 出演者控所
⑨ SVIP受付	⑲ 式典チェックテント	㉘ 出演者トイレ
⑩ 関係者トイレ	㉚ 関係者控所	

(4) 式典会場全体配置図



3 主要施設計画

(1) お野立所

①お手植え会場（南足柄会場）

うっそうとしたスギ林や上総川かずさがわのせせらぎ、田んぼや集落などが残る会場周辺の風景は、昔ながらののどかな里山を思わせます。この様な原風景に寄り添うような山小屋をイメージした勾配屋根を採用します。



②式典会場（秦野会場）

水無川みずなしがわを中心とした都市公園としてのおおらかな環境を意識し、この地域のシンボルともなっている風の吊り橋からヒントを得て、風にはらんだ帆や浮遊するパラグライダーをイメージしたアーチ形状の屋根を採用します。



※お野立所

天皇皇后両陛下の観覧のお席となる、全国植樹祭のシンボリックな施設です。

(2) 特別招待者席

特別招待者席には、会場に合ったサイズのテントを設置します。

(3) 一般招待者席

一般招待者席は、会場の森林整備等で生じた伐採木のスギ・ヒノキ材を使用した木製ベンチを設置します。



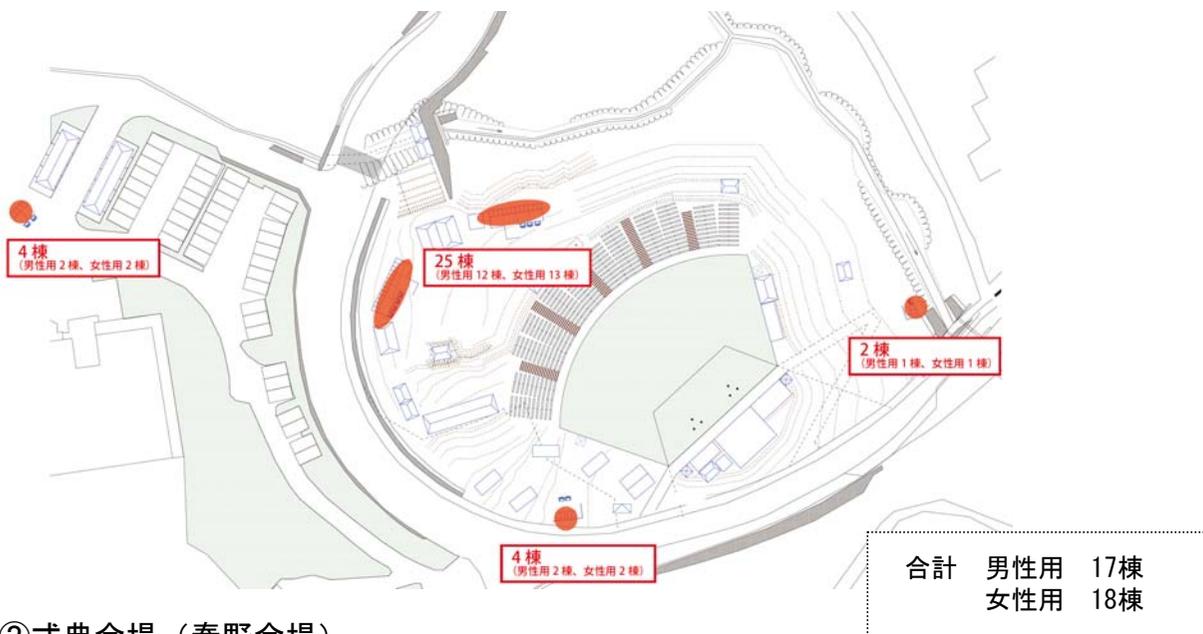
4 サイン計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典・植樹行事に参加することができ、移動に支障がないように案内サインを設置します。
- サインの設置にあたっては、ユニバーサルデザインに留意し、ピクトサイン（絵文字）を使用する等、分かりやすいサインの設置に努めます。

5 仮設トイレ計画

- お手植え会場、式典会場、植樹会場、サービス広場など、招待者等の動線上に適正な数量を設置します。また、衛生面にも十分配慮します。

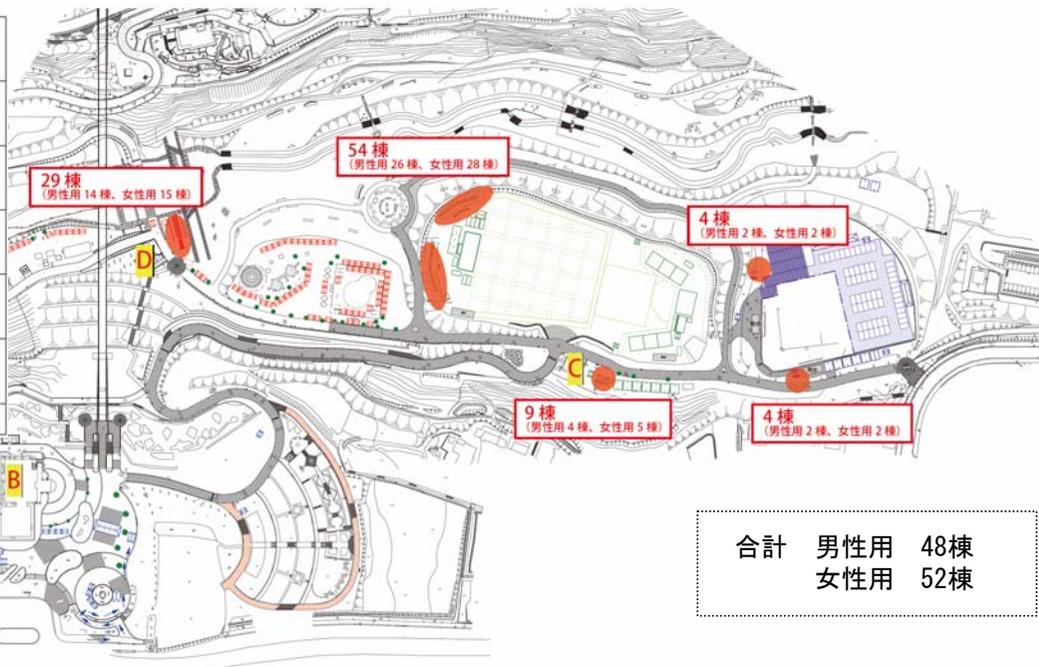
①お手植え会場（南足柄会場）



②式典会場（秦野会場）

既存トイレ

A	男：小④、大② 女：③ 障：①
B	男：小③、大① 女：③ 障：①
C	男：小③、大② 女：③ 障：①
D	男：小④、大② 女：④ 障：①
E	男：小④、大② 女：③ 障：①
合計	男：小⑧、大⑨ 女：⑩ 障：⑤
計 48 穴	



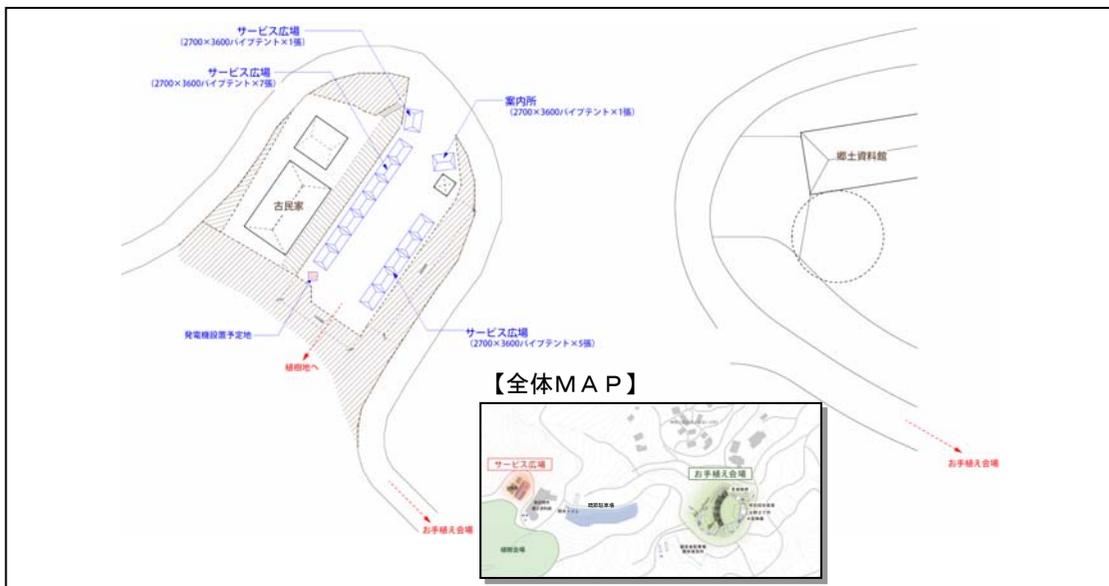
6 飾花計画

- 飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- 会場内に設置する飾花プランターについては、会場整備等で生じた伐採木を活用したものを配置します。
- お手植え会場及び式典会場に接続する沿道等については、県及び会場市の秦野市・南足柄市など関係者が一体となって、飾花を行います。

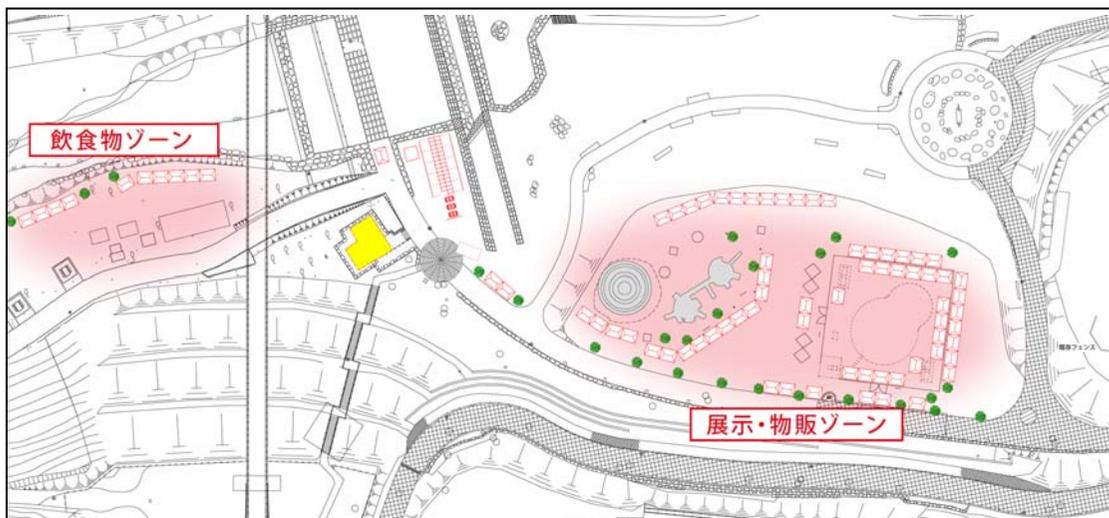
7 サービス広場計画

- 参加者が安全・快適に過ごせるよう、また、招待者に神奈川の自然や文化、観光、特産品を広く知ってもらうため、サービス広場を設置します。
- サービス広場の運営にあたっては、出展（店）者等の協力により、環境にやさしい運営に努めます。

①足柄森林公園丸太の森地区



②秦野戸川公園地区



1 基本的な考え方

- 全国からの招待者をもてなしの心でお迎えし、神奈川県大会の開催意義や理念を伝える場とします。
- 実施については各協力団体の意向を踏まえ、密接な連携を図ります。
- 招待者が安全、快適、清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

2 招待計画

- 招待者は、県外招待者と県内招待者に区分します。
- 多くの県民が参加できるように、県内招待者のうち2,000人程度を公募により招待します。

■運営上の招待者区分

招待者区分		人数	備 考
両会場招待者		20人	国務大臣、林野庁長官、 (社)国土緑化推進機構会長・理事長、 神奈川県知事・県議会議長等
特別招待者	県外特別招待者	200人	国会議員、中央省庁・団体関係者、緑化功労者、 被表彰者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、市町村議会議長、 被表彰者、実行委員会委員等
	小 計	400人	
一般招待者	県外一般招待者	980人	森林・林業関係団体の代表者等
	県内一般招待者	4,100人	市町村議会議員、森林・林業関係団体の代表者、 公募招待者等
	小 計	5,080人	
合 計		5,500人	

■会場別の招待者区分

お手植え・ 式典会場	招待者区分	招待者席	人 数	植樹会場	備 考
お手植え会場 → 式典会場	両会場招待者	特別招待者席	20人		両会場を移動
お手植え会場 (南足柄会場)	県外一般招待者	一般招待者席	280人	丸太の森地区	
	県内一般招待者	一般招待者席	700人	丸太の森地区	
	小 計		980人		
式典会場 (秦野会場)	県外特別招待者	特別招待者席	200人	戸川公園地区	
	県内特別招待者	特別招待者席	200人	戸川公園地区	
	県外一般招待者	一般招待者席	700人	戸川公園地区	
	県内一般招待者	一般招待者席	1,000人	丸太の森地区	午後植樹
	県内一般招待者	一般招待者席	2,400人	戸川公園地区	
	小 計		4,500人		
合 計			5,500人		
足柄森林公園丸太の森地区植樹会場人数			1,980人		
秦野戸川公園地区植樹会場人数			3,500人		

3 参加者行動計画

時刻	全体進行		招待者別行動計画						実施本部長等		
			両陛下	両会場招待者	県外招待者		県内招待者				
					県外招待者①	県外招待者②	県内招待者①	県内招待者②		県内招待者③	
	植樹会場			丸太の森	丸太の森地区	戸川公園地区	丸太の森地区	丸太の森地区	戸川公園地区		
	丸太の森	戸川公園		20人	280人	900人	700人	1,000人	2,600人	3,000人	
										指定集合地 ↓ バス降場 入場チェック	
6:00					宿泊施設			指定集合地			
7:00								指定集合地			
7:50											
8:00	記念植樹	記念植樹		宿泊施設	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)		
9:00				お手植え会場到着 受付	入場チェック (お手植え会場)	入場チェック (お手植え会場)		バス降場			
10:00				着席 ~10:10	着席 ~10:10	着席 ~10:10					
10:20	ブローグ 25分									各 配 置 場 所	
10:45	お手植え行事 25分	お手植え行事 (中継)	御着	特別招待者席 (お手植え会場)	招待者席 (お手植え会場)	会場内でお手植え行事中継を視聴	招待者席 (お手植え会場)	会場内でお手植え行事中継を視聴			
11:00			御発								
11:10	リレートラック ショーン 10分			式典会場へ移動		着席 ~11:15		着席 ~11:15			
11:20	2会場連携セレモニー			2会場連携セレモニー							
11:45											
12:00		ブローグ 25分									
12:10	式典行事 (中継)	式典行事 35分	御着	特別招待者席 (式典会場)	招待者席 (式典会場)	招待者席 (式典会場)		招待者席 (式典会場)			
12:45			御発								
13:00	エピソード (2会場中継)	エピソード 20分	行幸啓へ		2会場中継	2会場中継					
13:05				昼食会場	昼食 (会場内)	バス乗り場	離席 13:05 ~	バス乗り場	離席 13:05 ~		
14:00	記念植樹							バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)			
15:00				空港・駅等							
15:25					指定解散地 視察等	指定解散地 視察等	指定解散地	バス乗り場	指定解散地		
16:00								指定解散地	指定解散地		

4 受付計画

- 前日に宿泊する招待者は、宿泊施設到着時と当日バス乗車時の2回受付を行います。
- 宿泊をしない招待者は、当日バス乗車時に受付を行います。
- お手植え会場及び式典会場の入場時には、入場チェックを行います。

5 招待者に配布する記念品等

- 招待者等に対して、開催県・会場設置市（秦野市・南足柄市）から参加記念品を配布します。
- 記念品は、県産品の活用を図り、後利用のできる「もらってうれしいもの」とするとともに、遠方からの招待者の持ち帰りやすさに配慮します。

■記念品（県・2市提供）

神奈川県	秦野市	南足柄市
		
箱根寄木細工 箸置き (会場整備に伴い発生した伐採木の一部を使用)	ピーナッツクリーム、ジャムペラ	お菓子 (チョコサンドクッキー)

6 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第61回全国植樹祭ポスター原画コンクールの最優秀作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- 主催 社団法人 国土緑化推進機構
神奈川県
- 日時 平成22年5月22日（土） 17:30～18:00
※第61回全国植樹祭の前日
- 場所 湯本富士屋ホテル 2F 和室宴会場「梅」
(箱根町湯本)
- 招待者 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者（6名）
第61回全国植樹祭大会ポスター原画最優秀賞受賞者（1名）

(2) レセプション

天皇皇后両陛下の御来県を歓迎するとともに、レセプション招待者との懇親を深める場とします。

- 主催 神奈川県
- 日時 平成22年5月22日（土） 18:00～19:00
※第61回全国植樹祭の前日
- 場所 湯本富士屋ホテル 2F グランドコンベンションホール「箱根」
(箱根町湯本)
- 招待者 400名程度
両会場招待者、県外特別招待者 ほか

7 昼食計画

- 食事は、県産食材をふんだんに盛り込み、神奈川県らしさを堪能できるよう工夫します。
- 公募委員を含む委員会を設置し、地産地消にこだわったおいしいメニューを検討します。

区分	人数	場所	形態	時間	備考
両会場招待者	10人	昼食会場	昼食会	13:20～	知事室所管
	10人	式典会場	弁当	13:30～	
県内外特別招待者	400人	式典会場	弁当	13:30～	
県外一般招待者	280人	お手植え会場	弁当	11:30～	
	700人	式典会場	弁当	13:30～	
県内一般招待者	700人	お手植え会場	弁当	11:30～	
	2,400人	式典会場	弁当	13:30～	
	1,000人	バス車内	弁当	13:10～	式典会場から植樹会場（南足柄）へ移動
実施本部員	1,600人	業務従事場所	弁当	随時	
出演者	700人	出演者控え室	弁当	随時	
出展（店）者	300人	出展（店）ブース内	弁当	随時	
協力員	400人	業務従事場所	弁当	随時	

8 医療・衛生計画

(1) 医療対策

- お手植え・式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、医師や保健師、看護師を配置するとともに、医薬品やAED（自動体外式除細動器）、休憩用ベッド等を用意します。
- 近隣の消防機関や医療機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受け入れ体制を整えます。

(2) 衛生対策

- 食品衛生や環境衛生について、保健所等の関係機関と協議を行い、衛生対策を実施します。
- 食の安全を期すため、弁当納入業者や会場内の飲食販売業者と調整を行います。
- お手植え・式典会場及び周辺的环境美化に努めます。

(3) 新型インフルエンザ等の対策

- 事前に招待者へ送付するご案内等を通じて、手洗い、うがいを励行し、参加者の新型インフルエンザ予防、啓発に努めます。
- 新型インフルエンザの流行状況等により、参加者にマスクの持参を呼びかけます。
- リハーサル及び大会当日は、会場等にマスク（14,000枚）及び手指消毒剤を準備します。
- 大会直前に新型インフルエンザが流行した場合、「大会運営（開催）の変更等に係る判定会議」を設置し、開催の可否等について協議します。

9 消防・防災、警備計画

(1) 消防・防災

- 近隣の消防機関の協力を得て、お手植え・式典会場に消防車・救急車を配備します。
- 喫煙所以外はすべて禁煙とし、受動喫煙の防止に努めます。また、主要施設には消火器を設置します。
- お手植え・式典会場のサービス広場の火気使用についても、指導を徹底します。
- 情報の伝達は、招待者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、実施本部員へ避難経路等の周知徹底を図り、非常事態に備えます。

(2) 警備

- 会場内での事件事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員や実施本部員などを配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- お手植え会場及び式典会場の入場口では、金属探知機等による手荷物検査や入場者の確認を行います。
- 各会場では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

(3) 入場チェック計画（金属探知機配置計画）

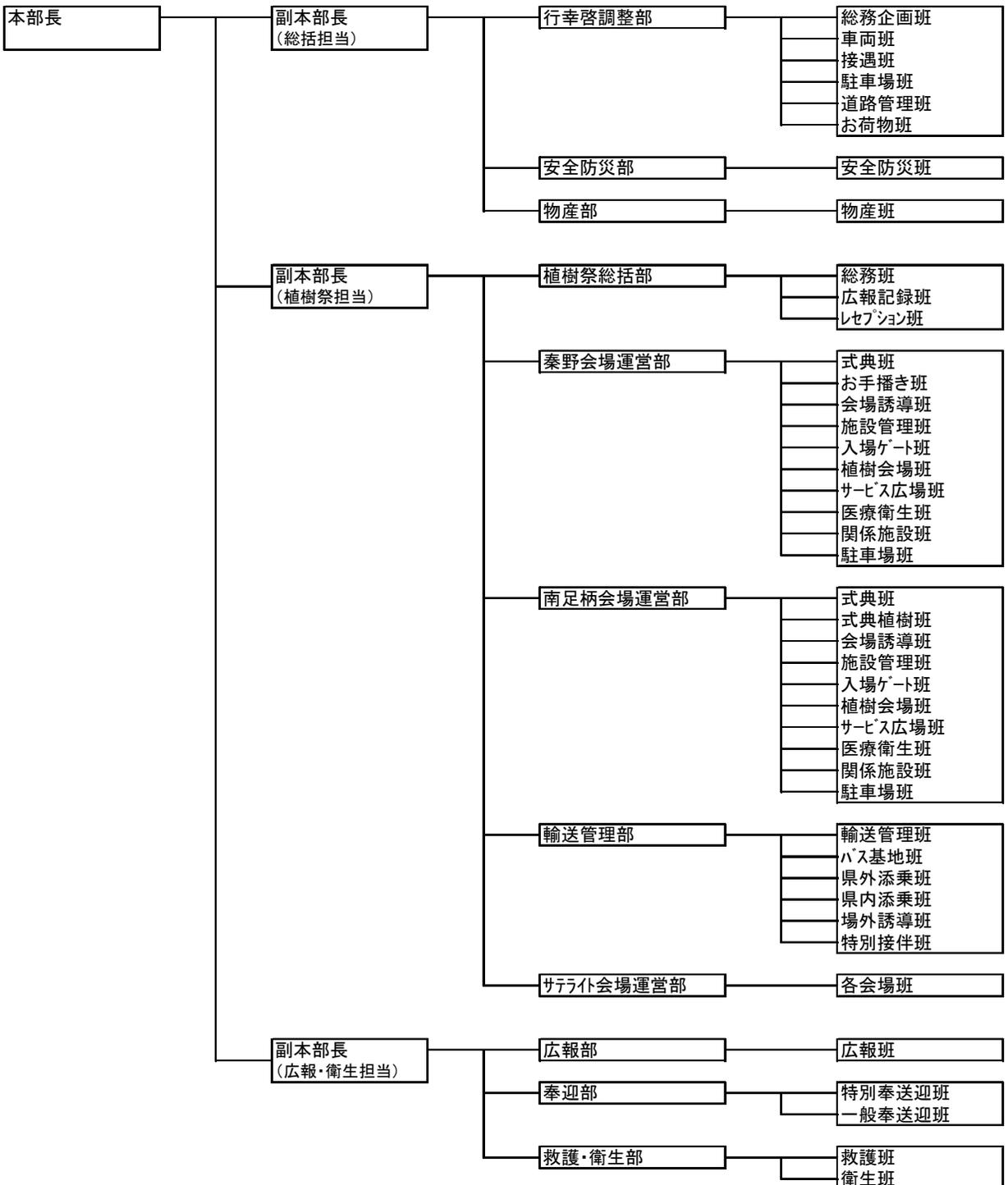
植樹祭会場への当日入場時に、識別装着確認及び金属探知機を使用して手荷物検査等の入場チェックを行い、招待者が安全に過ごせるよう万全を期します。

10 実施本部計画

●第61回全国植樹祭開催及びこれに伴い予想される本県への行幸啓に関する事務を円滑に実施することを目的として、「全国植樹祭・行幸啓本部」(実施本部員約2,000人規模)を設置します。

■実施本部組織図

- ①本部長：知事
- ②副本部長(総括担当)：副知事
- ③副本部長(植樹祭担当)：副知事、秦野市長、南足柄市長
- ④副本部長(広報・衛生担当)：副知事



1 基本的な考え方

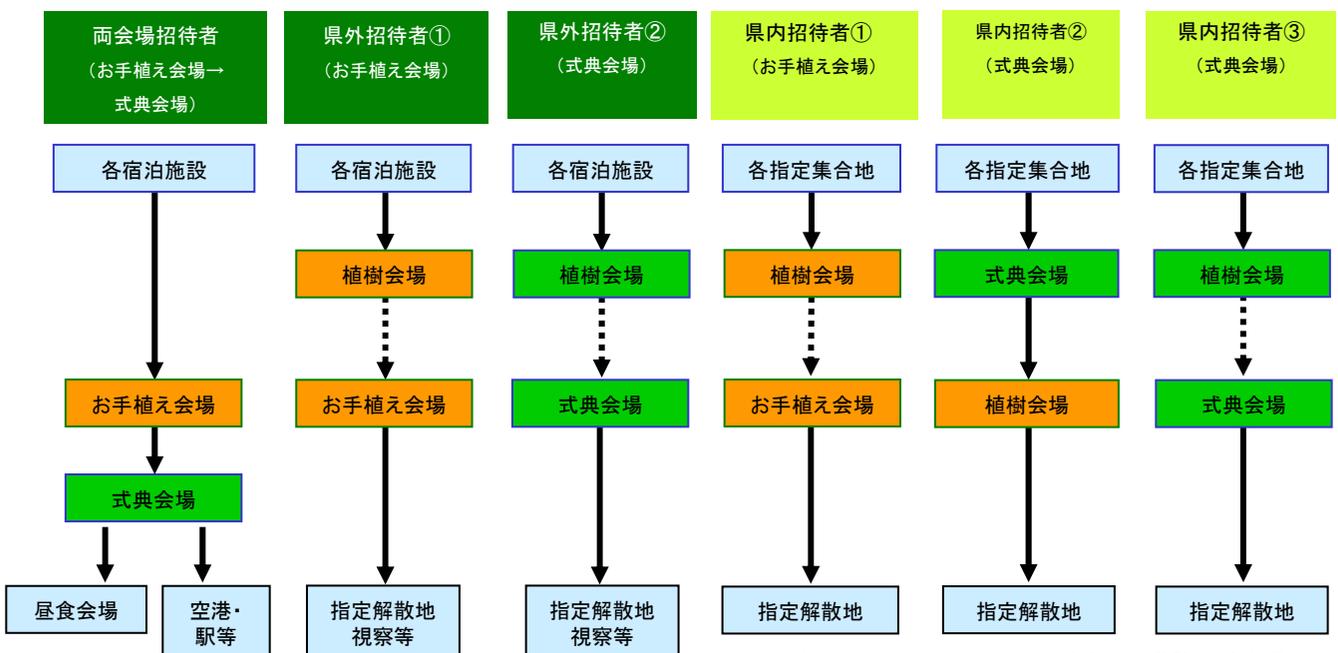
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制などについては、関係者で綿密な検討を行うとともに、バス添乗員の配置・案内等により招待者が快適に移動できる体制を整えます。
- また、環境やバリアフリーに配慮した体制とします。
- 県外招待者に対して、視察コースを設定し、神奈川県内の森林・林業や木材産業に対する理解を深めていただくとともに、神奈川県内の魅力をアピールします。

2 宿泊計画

- 県外招待者の宿泊地は、お手植え会場・式典会場からバスで概ね90分以内で、まとめて利用できる箱根・小田原エリアを中心に選定します。
- 宿泊料金（1泊2食付き、税、サービス料込み）は、招待者負担とします。

3 輸送計画

- 招待者の輸送は、バスを基本とした招待者区分ごとの計画を作成し、安全・快適・円滑に実施します。
- 必要な輸送機関の確保は、県内のバス会社・タクシー会社の協力を得て手配します。
- 招待者のバス等には、実施本部員が添乗します。
- 招待者は、各宿泊施設又は、予め指定された集合地において主催者の準備した車両を利用し、各会場に向かいます。



※招待者区分については、P22の「参加者行動計画」を参照。

■お手植え会場・式典会場周辺のバス輸送ルートマップ



箱根・小田原エリア
 【県外招待者宿泊】

1 基本的な考え方

- 神奈川県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民に参加していただき、全国植樹祭で発信する神奈川の森林再生の取組を広く理解していただけるようサテライト会場を設置します。
- サテライト会場で実施するイベントでは、各地域で活動する方々と協働し、地域の特性に応じた森林再生の取組を発信します。

2 開催概要

■開催期日

平成22年2月6日（土）から5月23日（日）までの間

開催日	2月	3月	4月	5月
会場	6日 湯河原会場	13日 横浜会場 20日 小田原ふるさとの森会場	3日 相模原会場 24日 厚木会場 29日 小田原わんぱくらんど会場 29日 山北会場	2日 横須賀・葉山会場 8日 伊勢原会場 16日 川崎会場 22日 藤沢会場 23日 海老名会場 23日 開成会場

■開催地



■規模（来場者数） 約14万5千人

■実施行事

- ・体感行事 全国植樹祭と共通の取組を体感できるもの
- ・情報発信 全国植樹祭の趣旨（森づくり・森林再生の取組）の理解を促進するもの
- ・関連行事 森林への親しみを深め、森林への恵みを感じるもの

■会場一覧

会場名	開催日	会場	来場者数	植樹本数
湯河原会場	平成22年2月6日(土)	湯河原梅林公園及び桜郷地区 (足柄下郡湯河原町鍛冶屋ほか)	10,000人	20本
横浜会場	平成22年3月13日(土)	玄海田公園 (横浜市緑区)	1,000人	10,000本
小田原ふるさとの森会場	平成22年3月20日(土)	久野塔ノ峰山頂付近 (ふるさとの森づくり運動実施箇所) (小田原市久野)	500人	2,500本
相模原会場	平成22年4月3日(土)	県立津久井湖城山公園水の苑地 (相模原市城山町)	20,000人	205本
厚木会場	平成22年4月24日(土)	若宮公園 (厚木市森の里)	40,000人	300本
小田原わんぱくらんど会場	平成22年4月29日(木)	小田原こどもの森公園わんぱくらんど (小田原市久野)	1,500人	1,500本
山北会場	平成22年4月29日(木)	大野山山頂 (足柄上郡山北町皆瀬川)	3,000人	1,000本
横須賀・葉山会場	平成22年5月2日(日)	湘南国際村 (横須賀市湘南国際村、 三浦郡葉山町上山口)	2,000人	3,000本
伊勢原会場	平成22年5月8日(土)	伊勢原市総合運動公園 (伊勢原市西富岡)	20,000人	300本
川崎会場	平成22年5月16日(日)	生田緑地 (川崎市多摩区)	5,000人	3,000本
藤沢会場	平成22年5月22日(土)	引地川親水公園一帯 (藤沢市大庭)	1,000人	30本
海老名会場	平成22年5月23日(日)	海老名市役所周辺 (海老名市勝瀬)	40,000人	500本
開成会場	平成22年5月23日(日)	中家村公園 (足柄上郡開成町吉田島)	1,000人	10本
合 計			約145,000人	約22,000本

1 基本的な考え方

暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難であると「大会運営（開催）の変更等に係る判定会議」で判断された場合は、荒天時プログラムに変更し、荒天会場で式典を実施します。

2 開催概要

荒天時式典の参加者数は、招待者900人、実施本部員等300人の計1,200人程度とします。

■会場

秦野市総合体育館（秦野市平沢）



■式典プログラム

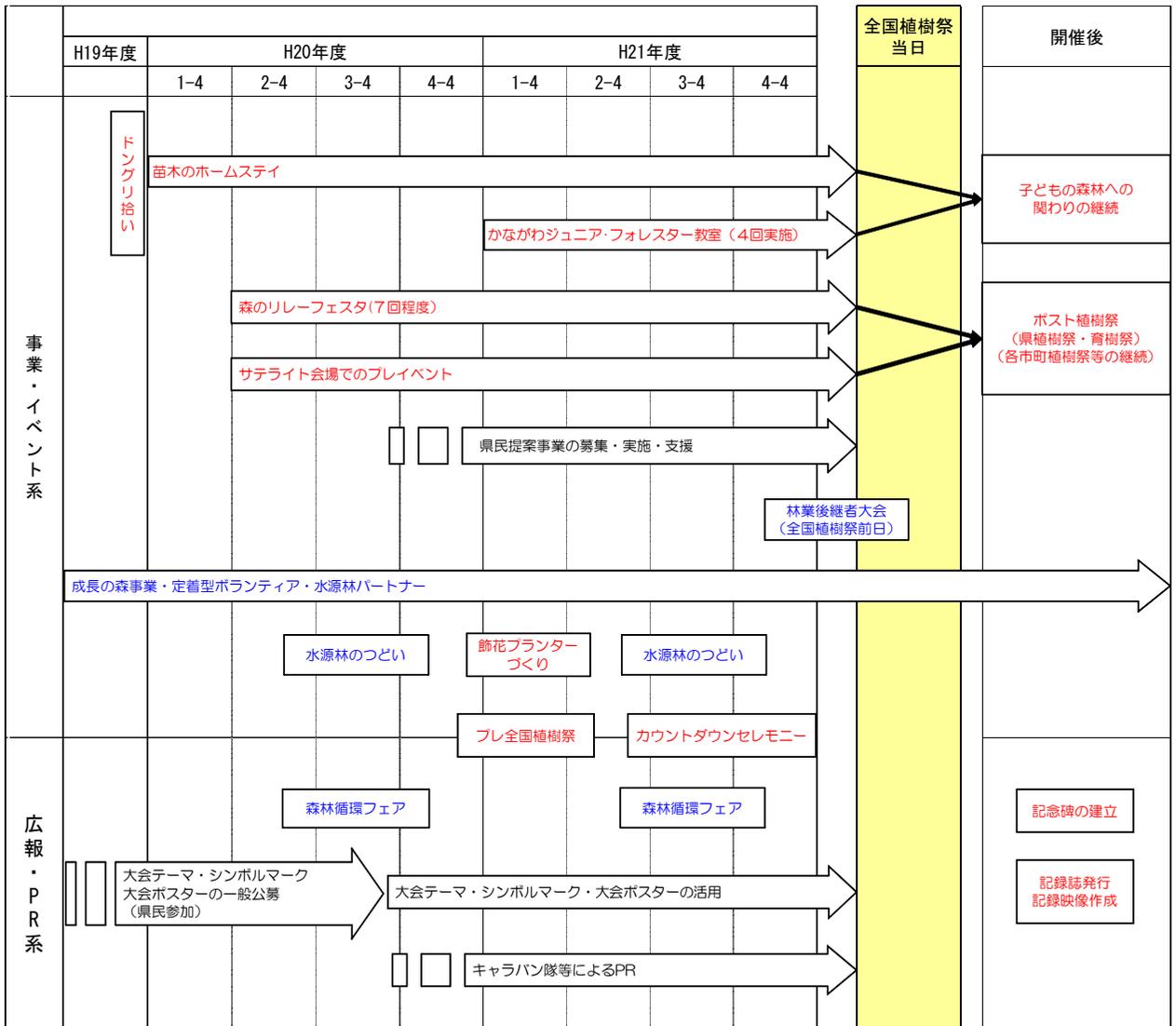
時間	プログラム	登壇者
10:40	プロローグ説明	
10:44	プロローグアトラクション	
11:00	式典案内	
11:10	天皇皇后両陛下 御着	御先導:神奈川県知事 お出迎え:大会会長、国土緑化推進機構理事長
11:14	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
11:15	国歌斉唱	
11:17	主催者あいさつ	大会会長、神奈川県知事
11:21	表彰 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 緑化功労 全日本学校関係者緑化コンクール 神奈川県緑化功労	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 神奈川県知事
11:27	苗木の贈呈	農林水産大臣、環境大臣
11:29	天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き	御先導:国土緑化推進機構理事長、神奈川県知事 介添え:緑の少年団
11:41	大会宣言	国土緑化推進機構理事長
11:43	リレーセレモニー	神奈川県知事、和歌山県知事
11:46	閉会のことば	神奈川県議会議長
11:48	天皇皇后両陛下 御発	御先導:神奈川県知事 お見送り:大会会長、国土緑化推進機構理事長
11:52	エピローグアトラクション説明	
11:54	エピローグアトラクション	
12:10	終了	

1 基本的な考え方

- 全国植樹祭の開催を契機に、「かながわ森林再生50年構想」を促進するため、県民、活動団体、事業者、市町村が一体となり、神奈川県力をもって取り組みます。
- 全国に先駆けて、森林再生の取組を積極的に行ってきたNPO等とともに、さらなる県民運動の発展を目指します。
- 全国植樹祭の開催に関わるすべての参加者に、森林再生への参加を呼びかけ県民運動の広がりを目指します。

2 実施事業の展開

※記念事業
 ※関連事業
 ※その他(広報・協賛等含む)



1 基本的な考え方

記念事業・関連事業等では、全国植樹祭の開催PR、開催への機運を盛り上げ、森林再生の取組のPRを図るとともに、森林のもたらす恵みや手入れの必要性などについて県民に広くアピールしていきます。

2 記念事業の内容

■苗木のホームステイ(ドングリからの苗木づくり)

全国植樹祭で使用する苗木の一部を育成するため、地元小学生等の参加を募り開催会場周辺でドングリを採取するとともに、「苗木のホームステイ」の取組により苗木の育成を行いました。

○時期 平成19年秋季～平成22年春季



■森のリレーフェスタ

大会への機運を全県的に盛り上げていくために、「植える」・「育てる」・「活用する」といった取組を県民の皆様にご体験いただくイベントを全国植樹祭開催までの間に、県内各地をリレー方式で回りながら実施しました。

○時期 平成20年7月～平成22年2月



■飾花プランターづくり(会場間伐材の活用と子どもたちの木工体験)

プレ全国植樹祭で会場を飾るプランターをお手植え会場(南足柄市)で発生した間伐材を活用して製作しました。

○時期 平成21年5月16日(土)



■プレ全国植樹祭

第61回全国植樹祭の開催PRと機運の盛り上げ、森林再生の必要性のPRを目的として開催しました。

○時期 平成21年5月24日(日)



■かながわジュニア・フォレスター教室

子どもたちの森づくりへの関心を高めるとともに、自然や森林に関する知識と経験の向上を目指し、小学3年生から高校2年生までを対象とした森林体験活動等を行いました。

○時期 平成21年度



■カウントダウンセレモニー

県民に広く全国植樹祭への参加をアピールするため、全国植樹祭当日にご参加いただく参加者の公募開始にあわせ、今井通子氏（医師・登山家）による講演、カウントダウンボードの除幕式等を行うとともに、森林再生の取組を進めるNPOの活動発表を、（財）かながわトラストみどり財団と協力して、横浜赤れんが倉庫イベント広場にて実施しました。

○時期 平成21年10月10日（土）



■全国植樹祭の記録誌発行、記録映像作成

第61回全国植樹祭の式典、植樹行事をはじめ、各種の記念行事や県民運動の活動状況等を、記録誌や記録ビデオ等にまとめます。

■記念碑の建立

第61回全国植樹祭の開催を記念して、御製碑を建立します。

■ポスト植樹祭

第61回全国植樹祭以後も開催理念を伝え広げるため、植樹や育樹の体験型イベント等を行い、県民参加による森づくりを継続します。

○時期 平成22年度以降

3 関連事業等の内容

■第39回全国林業後継者大会

全国の林業後継者が一堂に会し、森を育む担い手として果たす役割について意見を交わし、健全な森づくりにより、豊かな社会を築くことを国民に発信するための大会とします。

○時期 平成22年5月22日(土) (第61回全国植樹祭開催日の前日)

■森林循環フェア

「森林資源の循環」の仕組みを再構築していくため、森林づくりや木材に対する県民の関心を高めるとともに、林業・木材産業並びに家づくりや家具づくりの関係者等の連携を図り、県産木材のより一層の利用を促進するため開催します。

○時期 毎年秋季

■水源林のつどい

神奈川県における水源の森林づくりへの理解を深めていただくため、森林再生に取り組むNPO団体や企業等と連携・協働して開催します。

○時期 毎年秋季

■成長の森事業

神奈川の森林再生のための象徴的な取組として、赤ちゃんが生まれたご家族等を参加者とし、赤ちゃんの誕生を記念して「成長の森」をつくり、次の世代へ引き継いでいくことを目的として、(財)かながわトラストみどり財団が県と協力して実施します。

○時期 平成19年秋季～

■定着型ボランティア

県の水源林の一定エリアを10年間、活動フィールドとして提供を受けた参加グループが、森林づくりの目標をもって、主体的な森林づくりの活動を行っていただく取組を進めます。

○時期 平成19年度～平成29年度

■水源林パートナー・森林再生パートナー

企業・団体等(水源林パートナー・森林再生パートナー)から5年間、継続した寄附を頂くとともに、森林活動により水源の森林づくりに参加協力をいただく取組を進めます。

○時期 毎年(通年)

1 基本的な考え方

- 広報活動や企業協賛を通じて、大会の開催を広くPRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- これらの活動を通じて、神奈川の森林の現状やそれを再生していくための手段なども併せて周知し、森林づくりの県民運動への参加につなげていきます。

2 広報計画

各種媒体を活用し、わかりやすく、タイムリーな情報の発信により、全国植樹祭を周知するとともに、大会や県民運動への参加を呼びかけます。

●キャラバン活動

市町村等が実施する各種イベントや街頭などで、大会マスコットの着ぐるみを登場させてチラシの配布を行うなどのキャラバン活動を行い、子どもたちを含め多くの県民の皆さんに大会への関心を高めていただき、大会に向けた機運を全県的に盛り上げていきます。



えびなの森創造事業 第2回市民植樹祭

●定期広報誌の発行

「全国植樹祭だより かながわ未来の森」を発行し、「第61回全国植樹祭」の開催準備の状況、県民運動、記念事業等に関する情報を定期的に情報誌によって発信し、周知します。



全国植樹祭だより「かながわ未来の森」

●大会テーマソングの制作（実施済）

第61回全国植樹祭を広く県民の皆さまにお知らせし、大会を親しみやすいものとしていくため、藤沢市出身・鎌倉市在住で、かながわ環境大使でもある白井貴子さんに、森づくり・森林再生へのメッセージを込めた大会テーマソング「森へ行こう！」を制作していただき、平成21年10月10日（土）に開催したカウントダウンセレモニーにおいて披露しました。



松沢知事より委嘱状の交付を受ける制作者の白井貴子さん

3 協賛計画

- 県内の企業・団体や「かなりんちゃん募金」（個人協賛）などによる協力を求めています。

■ かなりんちゃん募金（個人協賛）

全国植樹祭を応援してくださる個人やグループの方を対象として、かなりんちゃん募金を実施しています。

募金された方に「かなりんちゃんファンクラブ」の会員となっただき、神奈川の森林再生に協力していただきます。



かなりんちゃんファンクラブ会員証
(缶バッジ)

- 第61回全国植樹祭や各種記念事業の運営・広報等に対する資金提供や物品提供などによる協力を求めています。



キャラバンカー「かなりんちゃん号」



カウントダウンボード



かなりんちゃん
パッケージのお菓子

かながわ森林再生50年構想

県内には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで約9万5000ha、県土の40%近くを占める森林があります。今、この森林が、丹沢大山でのブナやモミの立ち枯れだけでなく、山地や里山まで県内各地で、手入れ不足などにより荒廃が進んでいます。

県では、前の世代から引き継いだ森林の様々な恵みを子や孫に手渡すため、50年かけて、皆さんとともに森林再生の取組を進めていきます。

広葉樹林の再生

- 丹沢大山では、ニホンジカによる下草や低木の過度の採食を防ぎつつ、後継樹を育成し、多様な樹種による原生的な自然林に誘導していきます。
- かつて薪や炭の原木として利用され、その後放置されている山地や里山の二次林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、多様な樹種からなる自然林に誘導していきます。
- なお、土壌流出の著しい溪畔林などでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林から混交林への転換

- 林道から200m以上離れたスギ・ヒノキの人工林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、混交林や巨木林に誘導していきます。
- なお、急傾斜地や、周囲が人工林ばかりで広葉樹の導入が期待できないところなどでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林の再生

- 林道から200m以内のスギ・ヒノキの人工林では、間伐を行い、木材として利用するとともに、伐採後は、花粉の少ないスギ・ヒノキや今後実用化する無花粉スギを植栽し、複層林などに誘導していきます。

50年後のめざす姿と 主な取組み



■スケジュール

年度	月	重要事項	主なイベント	広報等	
平成20年度	4月				
	5月			大会テーマ決定	
	6月				
	7月		第1回森のリレーフェスタ 相模湖畔林、三井水源林(26日)		
	8月	基本計画(案)策定			
	9月				
	10月		第2回森のリレーフェスタ やどりき水源林(18日)		
	11月		第3回森のリレーフェスタ 海老名市役所周辺(1日)	シンボルマーク等決定	
	12月				
	1月				
	2月	基本計画決定			
	3月		第4回森のリレーフェスタ 小田原市塔ノ峰(14日):雨天中止		
平成21年度	4月				
	5月		プレ全国植樹祭(24日)		
	6月	実施本部の設置	●福井県大会参加(7日)		
	7月	実施計画(案)策定			
	8月		大会開催日決定		
	9月		第5回森のリレーフェスタ 箱根町湖尻(5日)		
	10月		第6回森のリレーフェスタ 新川崎駅操車場跡地(26日)ほか		
	11月		カウントダウンセレモニー 赤レンガ倉庫イベント広場(10日)		
	12月				
	1月				
	2月	実施計画決定	第7回森のリレーフェスタ 厚木市鷲尾山(7日)		
	3月		各サテライト会場で イベント実施2月~5月		
	平成22年度	4月			
		5月		林業後継者大会(22日)	
5月		第61回全国植樹祭5月23日(日)			
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月				●大会記録誌、記録DVD、 記念碑の製作	
3月		●実行委員会解散			



大会ポスター原画 画題「温かい緑」

**第61回 全国植樹祭 実施計画【概要版】
平成22年2月**

神奈川県環境農政部森林課全国植樹祭推進室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

TEL 045-210-4375 FAX 045-210-8855

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/>

または、「第61回全国植樹祭」で検索してください。